



【図書館歳時記】 「秋風を待ちながら」

8月は厳しい暑さが続きましたが、疲れや不調はありませんか？

総合図書館4階の「健康・医療情報コーナー」には、「食生活」、「がん」、「こころ」などのテーマ別に配架した図書や雑誌、医療関係機関と連携したパンフレットなどがそろえてありますので、皆様の健康管理に、どうぞご活用ください。

日暮れが早まり、虫の音も大きくなりました。来る秋が、過ごしやすい日々でありますように。



おすすめの本の紹介

『くだものたちのないしょだよ』【黄-E-ハ】

(児童書・絵本) はせがわ かこ 作

WAVE 出版

色鉛筆で描かれた柔らかい絵と、短い文の絵本です。みかん、バナナ、キウイたちが、こっそり秘密を教えてください。「あのね、あのね、ないしょだよ」の繰り返しが楽しいお話です。その「ないしょ」とは、皮をむかなくてもみかんの中の袋の数がわかる数え方や、バナナがなぜ黒くなるか、キウイの名前の由来など詳しいものばかりで、大人でも知らないかもしれません。そして、ももが教えてくれた「ないしょ」とは、何でしょう？

言葉かけを楽しみながら読むことができるので、赤ちゃんからおすすめの絵本です。

『誰でもわかるお寿司の本』【596.2-ダ】

(一般書・家政) サクラ・レストランズ編集部 著

サクラ・レストランズ 出版

寿司の歴史の原点は、魚を貯蔵するためだった！
寿司は、今や世界共通の食となり始めており、海外では「SUSHI」として、日本の枠を飛び越えた食文化として広がりを見せています。

日本の伝統的な食文化が注目を集め、寿司の世界も盛り上がりを見せており、寿司のネタ解説はもちろんのこと、日本料理とは異なる、寿司屋の一品料理、素材、技、道具などを紹介しています。

美食家の方や寿司が好きな方、寿司職人になりたい方、寿司の基礎知識を見直したいと思っている方などに、おすすめの一冊です。

『ワタシゴト 14歳のひろしま』【TF-ナ】

(ティーンズ・小説) 中澤晶子 作 汐文社

作者は、題名の「ワタシゴト」に、渡し事＝記憶を手渡すこと。私事＝他人のことではない、私のこと。という、ふたつの意味を込めたそうです。

この物語は、修学旅行で広島平和記念資料館を訪れた5人の悩める中学生の目を通して描かれています。

彼らは、資料館に展示された弁当箱やワンピース、くつといった日用品の被爆資料から、過去の戦争と現在を結び付け、平和について、また、今の自分の問題と、これから先の未来について深く考えさせられていきます。

『さかな博士のレアうま魚図鑑』【664-イ】

(児童書・水産業) 伊藤柚貴 作 日東書院

「日本さかな検定」1級に史上最年少の小学5年生で合格した、福岡県在住の伊藤柚貴さんの魚への愛に満ち溢れた手作りの魚図鑑です。

見た目の悪さや、漁獲量が安定しないなどの理由から捨てられてしまう「未利用魚」を中心に、手描きの絵や文章で、魚の特徴などが説明されています。

また、豊富な魚の知識を駆使した伊藤さんならではの調理法や、的確な表現力で伝えられる味の感想も紹介されているので、読み応えのある内容です。

これまで捨てられていた、「未利用魚」の魅力をも十分に引き出し、魚や海の奥深さを感じられる一冊です。

貸出 TOP10

(令和2年7月末現在)

順位	書名	著者名	出版社
1	魔力の胎動	東野圭吾	KADOKAWA
2	沈黙のパレード	東野圭吾	文藝春秋
3	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子	小学館
4	黒武御神火御殿	宮部みゆき	毎日新聞出版
5	検事の信義	柚月裕子	KADOKAWA
6	さよならの儀式	宮部みゆき	河出書房新社
7	かいけつゾロリのだ・だ・だ・だいぼうけん!後編	原ゆたか	ポプラ社
8	かがみの孤城	辻村深月	ポプラ社
9	クスノキの番人	東野圭吾	実業之日本社
10	ほたる茶屋	藤原緋沙子	KADOKAWA

予約 TOP10

(令和2年8月27日現在)

順位	書名	著者名	出版社
1	クスノキの番人	東野圭吾	実業之日本社
2	流浪の月	凧良ゆう	東京創元社
3	カケラ	湊かなえ	集英社
4	希望の糸	東野圭吾	講談社
5	ライオンのおやつ	小川糸	ポプラ社
6	きたきた捕物帖	宮部みゆき	PHP 研究所
7	少年と犬	馳星周	文藝春秋
8	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	プレイディ・シロ	新潮社
9	流人道中記 上	浅田次郎	中央公論新社
10	熱源	川越宗一	文藝春秋

「子ども司書育成講座」を開催しました

8月6日、7日の2日間「子ども司書育成講座」を開催し、11名が参加しました。

1日目の午前中は、「図書館カルタ」で図書館について学び、「図書館探検」では、普段見ることができない自動出納書庫の中などを見学しました。

午後は色画用紙やペンを使って、自分のおすすめの本を紹介するカードやPOP（ポップ）を作りました。



【参加者全員の記念写真】



【「図書館カルタ」に取り組む様子】

2日目は、参加者が一人ずつ、おすすめの本の魅力を限られた時間の中で紹介しあい、その中から一番読みたいと思った本を決める、「ビブリオバトル」を行いました。

最後に、総合図書館の館長から「子ども司書認定証」が手渡されました。

「おはなし会」を再開します!!

新型コロナウイルス感染拡大防止のために休止していた、市立図書館「おはなし会」を、十分な感染防止対策を行い、9月から再開します。

「おはなし会」は、子どもたちに本の楽しさを感じてもらい、本が好きになるきっかけをつくるために、絵本の読み聞かせや手遊びなどを行っています。

感染防止対策として、参加者全員のマスクの着用（乳幼児を除く）、検温や手指の消毒、「おはなし会参加者カード」への記入、会場の規模に合わせた人数制限などを実施します。

会場や日時などの詳細は、最新情報を市立図書館ホームページでご確認のうえ、ご参加ください。



【「おはなし会」の様子】